

LIBRARY NEWS

(図書室だより)

令和7年6月27日 No.3

新座市立第三中学校

校長 石田 和男

図書整理員 名本 浩子

大気の暖かさ、雲の形、咲く花、虫の音など、私たちは、自然のちょっとした変化に、季節の移ろいを感じます。日もずいぶん長くなり、先週の6月21日(土)は、1年で、日が最も長い二十四節気の『夏至』でした。

あまり聞きなれていませんが、『二十四節気』を、さらに「初候」、「次候」、「末候」の3つに分けた季節のことを、『七十二候』といい、ちょうど今、6月26日から30日ごろは、夏至の次候『菖蒲華さく』^{あやめはな}というそうです。また、梅雨の雨上がりに、木の葉にたまつた雨が、小さなシャワーのように降り注ぐ、そんな雨粒のことを『青時雨』^{あおしぐれ}といいそうです。『二十四節気』の本から、いろいろな言葉が広がり、日本人の季節に対する感覚の豊かさと言葉への愛着をしみじみ感じました。みなさんも、図書室の本で、言葉の扉を開いてみませんか。

新聞の紙面構成を知ろう！②

『埼玉新聞』の8面は、曜日によって、いろいろな特集が組まれています。

今回は、「月曜日」の内容を、6月2日の新聞で紹介します。

〔マンガで習ッチャオ！〕のとき
もあります。6月16日には、「短歌
の気軽な作り方」をマンガで解説。

英語の発音について解説

週間 Let's えいGO !

ニュースで英語にふれ、日本や世界のコトを知ろう！

この週は、大阪・関西万博で、
最新版の「人間洗濯機」が人気
だというニュース。

注目ワードは “Wash”

《新聞クイズ》

【本の海へ】では毎週、いろいろな「絵本」を紹介。

この日(6/2)、紹介されて
いたのは、メディアでも話題
になり、全国で240万部突破
という超ミリオンセラー、「ねこ」
が主人公の絵本です。その絵本は、次のうちの
どれでしょう。

- ①町田尚子/作・絵
「ネコヅメのよる」

②佐藤洋子/作・絵
「おれはねこだぜ」

③佐野洋子/作・絵
「100万回生きたねこ」

前回のクイズの答えは、②
鈴木のりたけ/作「大ピンチ
ずかん」でした。

令和7年度、第71回「青少年読書感想文全国コンクール」の中学校の部の『課題図書』を紹介します。

『わたしは食べるのが下手』 天川栄人/著 (小峰書店)



人に見られていると食事がしづらくなる「会食恐怖症」。たくさん食べては吐き出す。これを繰り返す「摂食障害」。そんな『食』にかかる悩みをかかえる2人の少女。自分を変えたくても変えられない焦りといら立ち。それは、きっと、だれにも理解してもらえない。

彼女たちのクラスには、インドネシア人で、イスラム教徒のため、食べられない食材のある生徒がいる。給食大好きな少年にも、家庭の事情があった。

— “人は生きるために食べる” それはたぶん、味とか栄養とかを超えた、何か特別な価値を持つ、営み—

栄養教諭の先生やクラスメイトなど、様々な人々との関わりを通して、自分と向き合い、もがきながら、『食』への前向きな気持ちへと心を成長させていく、そんな2人の少女の物語。



『スラムに水は流れない』 ヴァルシャ・バジャージ/著

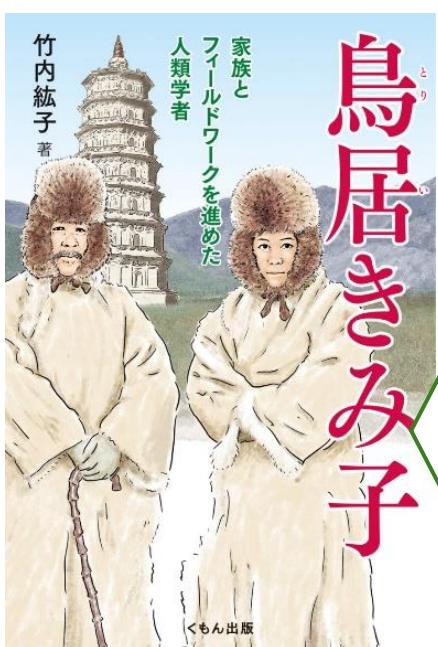
村上利佳/訳 (あすなろ書房)

インド有数の大都市「ムンバイ」。そのスラムには、ムンバイの人口の40%が住んでいるのに、水は、市全体の5%しか供給されない。1日3時間という限られた時間で水をくみ、しかも、細菌を殺すため、必ず一度、沸騰させてから使わなくてはならない。

「水が不自由なく使える生活ができるようにしたい」、そして、「その実現のための知識を身につけたい」。その願いから、ミンニは「もっと勉強したい」と思っている。

しかし、母の体調不良で、学校に行くことも、勉強することもつらくなる。しかも、兄が闇の世界の秘密を知ってしまった！それでもミンニは、周りの人々にも支えられ、強く生きる。

「がんばれ！」ミンニにエールを送りたくなる、そんな一冊です。



『鳥居きみ子

家族とフィールドワークを進めた

人類学者』 竹内紘子/著

(くもん出版)

夫、龍藏や家族とともに、フィールドワーク(野外調査)を進め、人類学のなかでも、民俗学を切り開いたきみ子。

さまざまな困難に直面しながらも、夫への信頼と度胸の強さでつきすすんだきみ子。これまで紹介されることがなかったきみ子の生涯を描いた人物伝。



1人5冊まで借りられます。

借りた人には “スターフックス” のしおりをもれなく贈呈！

あの世界最大手のコーヒーチェーン店にも劣らない、おいしいかき氷のしおりをご用意しております。

ぜひ、図書室までお越しください！

